

CCRP（献体による臨床医学研究プログラム協議会）について

新たな学問体系としての外科教育学・臨床解剖学の教育研究を自ら実施できる医療人材の育成と、産学官が連携した医療機器開発のリエゾンの核となる専門人材の養成を目的に、北海道大学、京都大学、千葉大学の3大学でコンソーシアムを組織しました。

CCRPが実施する本プログラムにより、我が国に今までなかった臨床医学の献体使用の学術環境が確立されます。

お問い合わせ

●北海道大学 CAST関連事業ホームページ内「お問い合わせ」フォーム

URL : <https://cast.med.hokudai.ac.jp>

または

●献体による臨床医学研究プログラム協議会 (CCRP) 事務局

〒060-0813 北海道札幌市北区北13条西7丁目
 北海道大学 医歯学総合研究棟 7階112-3室

電話番号 : 011-706-4929 (北海道大学CAST関連事業代表電話)

Eメール : CERIA@pop.med.hokudai.ac.jp

文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラムについて

課題解決型高度医療人材養成プログラムは、高度な教育力・技術力を有する大学が核となって、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療が提供できる優れた医療人材の養成を目的としています。

北海道大学、京都大学、千葉大学が連携し、CCRP(献体による臨床医学研究プログラム協議会)を設置して実施する「臨床医学の献体利用を推進する専門人材養成プログラム」は、令和元年度に採択された事業です。

CAST関連事業について

北海道大学病院と北海道大学大学院医学研究院では、高度で安全な医療の普及と、医療人材の育成を目的に、CAST関連事業(Clinical Anatomy, Surgical Training & Translational Research Project)を立ち上げ、白菊会会員の皆様の篤志によるご献体を使用した総合的な臨床医学の教育・研究を実施しています。

先端医療技術教育研究開発センターでは、臨床医学研究の一環として、ご献体を用いた医療機器の研究開発を行っています。実施に際しては、厳密な倫理審査での承認のもとに、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」と「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」を遵守しております。

詳細につきましてはCAST関連事業のホームページに「ご献体を用いた臨床医学研究のご案内」の小冊子をご用意しておりますので、併せてご覧ください。

URL : <https://cast.med.hokudai.ac.jp>



専門学会・研究会のホームページ

●日本外科教育研究会

<http://www.surgicaleducation.jp>



●CST研究会

<http://cst.kenkyuukai.jp/special/index.asp?id=30823>



高度で安全な医療が
受けられる未来社会の実現に向けて

臨床医学の献体使用における
教育・研究の核となる
リーダーを育てる

文部科学省

課題解決型高度医療人材養成プログラム(外科解剖・手術領域)

臨床医学の 献体利用を推進する 専門人材養成プログラム

北海道大学医学研究院
 献体による臨床医学研究プログラム
 CCRP(Consortium for Clinical Cadaver Research Program)



北海道大学 CAST関連事業
 Hokkaido University CAST Project. Clinical Anatomy,
 Surgical Training & Translational Research

臨床医学の献体使用において、医工・産学をつなぐ核となり、後進を指導できる人材を養成します。

臨床医学の献体利用を推進する専門人材養成プログラムの開設

ご献体を使用した手術手技研修(Cadaver Surgical Training:CST)や研究開発の実施に必須である専門人材育成の手法、関連法規、感染防御、COI・知財マネジメント等を体系的に学習できるプログラムを開設し、ご献体を使用した医工連携・産学連携を推進できる人材を養成することで、臨床医学の教育・研究における献体使用の効果を最大限に発揮できる学術環境を確立します。

受講対象者

ご献体を使用した臨床医学の教育研究と医療機器開発を学びたいすべての大学院生、並びに社会人の方

養成する人材像



外科教育を医学研究として自ら実施し、具体的なアウトカムを提示してエビデンスを構築できる人材



ご献体の保存法の選択から臨床解剖の効率的な実施法まで、CSTの実施を適切にマネジメントできる人材



医療機器開発のプロセスに精通し、医工連携の核となって、臨床医学における献体使用の基盤を支えることができる人材

外科教育学

臨床解剖学

医療機器開発

臨床医学における献体使用の推進による
あらたな学術環境の確立

ご献体を使用した臨床医学の教育・研究(臨床解剖)について

安全な医療の提供

— 医師・歯科医師の教育 —

- 外科基本手技の実習
- 標準手術の修練
- 高難度手術の習得

新しい医療の開発

— 臨床研究 —

- あらたな手術法の研究・開発
- あらたな医療機器の研究・開発

実施に当たっては「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」と「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守し、解剖学分野の指導監督の下で白菊会会員の皆様の篤志によるご献体を用いて行います。

年間プログラムの概要と講義内容の例

プログラムと対象者	大学院共通科目 『外科系臨床医学研究の新展開』	履修証明プログラム
	対象者 大学院生(修士・博士)	対象者 社会人(企業人・研究者・医療従事者)
教育プログラム	臨床医学・外科解剖セミナー 責任教員：七戸 俊明(医. 消化器外科II、病. 医療機器開発推進センター)	
	医の倫理、臨床研究法等の法令とガイドライン、医学教育の基本、臨床研究のデザイン、医学論文の作成法	
	医療機器開発概論 責任教員：佐藤 典宏(病. 医療機器開発推進センター、臨床研究開発センター)	
	新規医療機器の開発と知的財産権、非臨床研究・臨床研究の実施と薬事承認、マーケティング	
	外科教育概論 責任教員：倉島 庸(医. クリニカルシミュレーションセンター、消化器外科II)	
	卒後教育の基本、ニーズアセスメントとカリキュラム作成、実施とフィードバック	
実習プログラム	臨床解剖概論 責任教員：渡辺 雅彦(医. 解剖学)	
	各種の遺体保存法、感染防御、カダバーラボの運営、臨床解剖の実際	
	CST実習 責任教員：平野 聡(医. 消化器外科II、病. CAST実施運営委員会)	
	CST実習、献体を使用した臨床研究の実施または補助	アイデア収集、医療者とのディスカッション

特 色

1 専門性の高い講師陣

北海道大学、京都大学、千葉大学の3大学の講師陣に加え、全国から招聘した臨床解剖、バイオデザイン、生命倫理、薬事承認などの各分野の第一人者の講師による教育プログラムにより、臨床医学の教育研究と医療機器開発に関する専門的な知識を学べます。



2 教育プログラムはすべてE-learning

すべての教育プログラムは、北海道大学オープンエデュケーションセンターの運営する授業支援システムのELMSポータルを利用して、オンデマンドで受講可能とし、社会人でも取り組みやすい学習環境を提供します。



3 CST実習の参加、見学が可能

医師・歯科医師免許を持つ受講生はCST実習を行います。また、それ以外の受講生は見学を通してご献体を使用した臨床医学教育や医療機器開発の現場を学びます。



4 専門学会・研究会とリンク

外科教育概論では、年一度「日本外科教育研究会*」が主催する「Surgical Education Summit」の参加(2日間)で、必修講義6コマに振替が可能です。また臨床解剖概論では、年一度開催される「CST研究会*」の参加(半日)で、選択講義2コマに振替が可能です。

※裏表紙に各会のホームページURLを記載しています。

5 履修証明プログラム

社会人等を対象とした「臨床医学の献体利用を推進する専門人材養成プログラム」は、教育基本法第7条及び学校教育法第83条の規定に基づいて開設します。5科目の修了に対し履修証明書を交付し、「Diploma of Medical Device Development」及び「Diploma of Clinical Anatomy」を授与します。また、「Surgical Education Summit」の参加をもって「Diploma of Surgical Education」を授与します。

● 講義内容・担当教員名の詳細とプログラムの申し込み方法等については、CAST関連事業のホームページをご覧ください。



URL : <https://cast.med.hokudai.ac.jp>